



第1号議案を説明する藤沼和明専務

事業報告 (一部抜粋)

■ 営農販売部門
不安定な世界情勢や円安による生産資材と燃油の高騰が影響し、農業経営が依然として厳しい中、組合員の経営支援のため、営農改善費2億800万円を支出。「あくりチャレンジ事業」や「あくりサポート事業」など各種支援事業を展開しました。

また、トップ営農指導員、営農アドバイザー合計70人による営農指導活動を展開したほか、主要6品目と地域戦略21品目の生産・流通・販売などの充実に取り組みしました。

● 販売物流プラットフォームの拡大
管内のファーマーズマーケット間の物流網「販売物流プラットフォーム」では、産地間リレーにより生産者の販路拡大

を行いました。

主要品目のイチゴでは、業務用規格販売を拡大し、出荷作業効率を高めるとともに、大口取引先への有利販売につなげました。

お茶の産地振興とブランド力強化のため、管内初の統一商品として緑茶ボトル缶の開発を進めました。

■ 信用部門
各種セミナーを積極的に実施
金融セミナー・相続セミナーを実施し、多様なニーズへの対応に努めました。合併1周年記念キャンペーンの実施と、年金定期貯金のリニューアルにより個人貯金増強に努めました。農業融資は、担い手・農業法人への訪問活動を展開。住宅ローンは、借換キャンペーンや地場業者への訪問活動を行いました。

■ 共済部門
大規模災害を踏まえた訓練
大規模地震発生時にも加入者に迅速な災害査定を行うための訓練を実施しました。

医療・建物更生共済を基軸としたフォロー活動を展開するとともに、組合員・利用者のライフプランや公的保険制度、リスクやそれに応じた保障の必要性を適切に説明し、保障の充足を図りました。

令和5年度各事業の実績

令和6年3月31日現在 (単位:百万円)

項目	計画	実績	達成率
販売品取扱高	17,737	18,832	106.1%
購買品取扱高	12,687	12,829	101.1%
貯金	1,842,846	1,825,920	99.0%
貸出金	441,649	448,486	101.5%
共済保有高	3,581,568	3,492,177	97.5%

令和5年度決算概況

貸借対照表 (単位:千円)

資 産		負債および純資産	
信用事業資産	1,857,447,678	信用事業負債	1,834,720,986
共済事業資産	73,710	共済事業負債	3,633,027
経済事業資産	3,324,174	経済事業負債	1,833,770
雑資産	4,623,085	設備借入金	60,000
固定資産	28,667,759	雑負債	3,948,510
外部出資	65,313,681	諸引当金	8,049,179
繰延税金資産	4,305,439	負債の部合計	1,852,245,474
		出資金	10,904,498
		純資産の部合計	111,510,054
資産の部合計	1,963,755,529	負債および純資産の部合計	1,963,755,529

損益計算書 (単位:千円)

事業総利益	21,931,903	剰余金処分	(単位:千円)
事業管理費	20,863,496	当期末処分剰余金	3,592,297
事業利益	1,068,407	剰余金処分量	723,258
経常利益	2,311,676	①任意積立金	400,000
税引前当期利益	1,186,167	②出資配当金	323,258
法人税等合計	524,272	次期繰越剰余金	2,876,364
当期剰余金	661,895		
当期首繰越剰余金	2,930,401		
当期末処分剰余金	3,592,297		

※出資配当は年3%です。
※各表の科目は主要なものを掲載しています。
※各数値は千円未満切り捨てのため、不突合があります。
自己資本比率 16.08%
※自己資本比率は、最低自己資本比率規制の4%はもとより、JA/バンク自主基準の8%をも大きく上回っています。



6月新発売の「ふじいーず彩々 緑茶ボトル缶」



組合長挨拶

代表理事組合長 梶 毅



第3回通常総代会

厳しい情勢の中、計画はおおむね順調に推移
役員選任細則変更、一層の女性参画を進める

第3回通常総代会を6月25日、沼津市民文化センターで開きました。同総代会には総代799人中、782人(本人出席338人、委任状出席3人、書面出席441人)が出席。令和5年度事業報告及び剰余金処分案の承認、役員選任細則の一部変更、令和6年度事業計画・自己改革工程表の設定など全7議案と附帯決議案が上程され、原案通り可決承認されました。

開会あいさつで梶毅組合長は、スマート農業の導入や各種支援事業の展開、販売物流プラットフォームの拡大、営農経済センターから出向く指導体制などに触れ、2か年計画の最終年度への協力を組合員に求めました。



あいさつする梶組合長

可決承認議案

第1号議案

令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業報告及び剰余金処分案の承認について

第2号議案

定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について

第3号議案

役員選任細則の一部変更について

第4号議案

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)事業計画・自己改革工程表の設定について

第5号議案

退任した常勤理事に対する退職慰労金の支給について

第6号議案

理事の報酬の決定について

第7号議案

監事の報酬の決定について

附帯決議案

施策の一例

生産から販売にかかる労働力支援 無料職業紹介所「あぐりキューピッド」の利用促進

生産から販売にかかる労働力確保に向け、無料職業紹介所「あぐりキューピッド」を活用した求人情報を提供し、組合員・生産者組織の雇用の安定化に取り組みます。

重要達成度指標 (KPI)	令和6年度計画
雇用成約件数	110

(単位: 件)



令和6年度各事業の計画 (単位: 百万円)

項目	計画
販売品取扱高	18,187
購買品取扱高	12,459
貯金	1,835,082
貸出金	446,362
共済保有高	3,399,181

令和6年度事業計画

総合財務計画

資産		負債および純資産	
信用事業資産	1,874,852,053	信用事業負債	1,843,678,505
(うち預金)	1,194,600,000	(うち貯金)	1,835,082,435
(うち有価証券)	211,100,000	共済事業負債	3,682,900
(うち貸出金)	446,362,648	経済事業負債	1,761,815
共済事業資産	103,000	雑負債	3,050,236
経済事業資産	2,733,400	諸引当金	7,711,616
雑資産	5,522,261	負債の部合計	1,859,925,072
固定資産	27,543,921	出資金	10,850,000
外部出資	65,313,682	利益剰余金	109,499,245
繰延税金資産	4,171,549	純資産の部合計	120,314,794
資産の部合計	1,980,239,866	負債および純資産の部合計	1,980,239,866

総合収支計画

事業総利益	21,931,827
(うち信用事業総利益)	12,783,443
(うち共済事業総利益)	5,317,773
(うち購買事業総利益)	2,626,218
(うち販売事業総利益)	953,462
(うち指導事業収支差額)	△ 327,796
事業管理費	21,105,144
(うち人件費)	14,342,267
事業利益	826,683
経常利益	2,028,943
特別損失	75,000
税引前当期利益	1,953,943

※各表の科目は主要なものを掲載しています。各数値は千円未満切り捨てのため、不突合があります。

女性のJA運営参画に向けて 役員選任細則の一部を変更

今回の通常総代会で、女性役員を8人以上とする「役員選任細則の一部変更について」が可決承認されました。当JAの運営に対して女性参画の機会が大きく増えます。

これまで当JAでは、管内8地区を3ブロックにわけ、それぞれ1人、合計3人の女性幹事を設けてきましたが、今回の変更で、区域選出幹事、青年担い手幹事、地区選出監事のうち8人以上の女性役員を選出するようになります。理事、監事を合わせた役員の総数は38人以上40人以内で変更はありません。

新しい役員選任細則は、令和8年6月開催の通常総代会の役員選任手続きから適用されます。

当JAでは、農林水産省など監督官庁の「総合的な監督指針」が掲げる「役員に占める女性の割合を早期に10%、令和7年度までに15%を目指す」に対応するため、令和5年9月に特別委員会を設置し5回にわたり協議を重ね、今回の変更となりました。

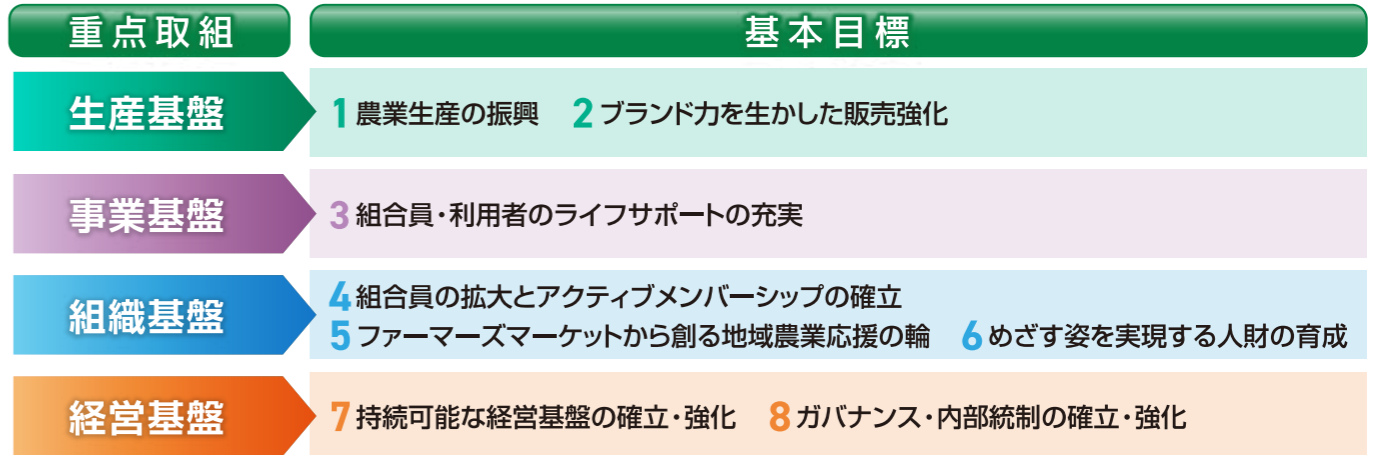


変更案に賛成する総代

令和6年度事業計画・自己改革工程表

同総代会で第4号議案の「令和6年度事業計画・自己改革工程表の設定」が決議されました。本年度は、昨年度から続く「JAふじ伊豆2か年計画～組合員とともに創造“農業と協同の未来”～」と「自己改革工程表～持続可能な農業・地域共生の未来づくり～」の最終年度です。引き続き、重点取組の「生産基盤」「事業基盤」「組織基盤」「経営基盤」の確立・強化に努めます。

〈基本目標と施策の一例〉



施策の一例

スマート農業の導入による生産性向上

生産振興を支える多様な支援施策として、スマート農業の導入による作業の省力化・効率化やセンシングシステムなどの情報通信技術による生産性向上に取り組めます。



ドローン導入の実証試験(なんすん地区)

品目	導入機器	令和6年度導入地区
水稲・柑橘 ブロックリー・ 加工キャベツ	農業用ドローン	三島函南・伊豆の国・ なんすん・御殿場・ 富士宮
イチゴ	環境モニタリングシステム	全地区
	炭酸ガス防除	三島函南・伊豆の国・ なんすん・富士宮
トマト	液栽培システム 光合成システム	全地区
	ハウス環境制御装置	三島函南・伊豆の国
水稲	水管理システム Z-GIS	なんすん・御殿場

あぐりサポート事業・あぐりチャレンジ事業

●あぐりサポート事業
組合員の持続可能な営農継続に向けて、農業生産の費用(有害鳥獣被害防止対策・農業用ハウス導入促進対策・農業機械導入促進対策など)の一部を支援します。

●あぐりチャレンジ事業
農業の生産拡大、生産組織の基盤強化に向け、意欲ある生産者を支援します。



畑ワサビの栽培試験(あいら伊豆地区)
(あぐりチャレンジ事業)

項目	令和6年度計画
あぐりサポート 事業予算額	61,600
あぐりチャレンジ 事業予算額	20,000

(単位: 千円)